



むかい

学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

—収穫の秋を終えて 2学期終業式—

校長 稲田 正平

今年の2学期は授業日が81日の予定でしたが、9月の台風による臨時休業日が入り80日の2学期となりました。また10月の台風では学校が避難所として開設され、近隣の方々60名ほどが一晩を体育館で過ごすなど、自然災害と安全について考えさせられる2学期でした。

しかし向小の子どもたちはそのような中でも、毎日を明るく元気に過ごしてきました。各学年の校外行事では、去年はすべて担任の先生に頼っていた今の二年生も、今年は出発や帰りの集いで司会や行事のめあて、感想を堂々とみんなの前で発表できたり、中学年はバスのレクを自分たちで進行したりするなど、一年前と比べると大きく成長した姿を随所で見せてくれました。校外行事という特別な場面だけではなく日常の中でも、雨上がりの朝は高学年の子どもたちが率先して水取りをして、全校の児童がグラウンドを使えるようにしてくれています。このように上級生が下級生に手本を示す日常生活が見られる向小はいい小学校だと感じています。また、食育と体力向上の研究の成果も見られ、子どもたちの欠席数の減少、残食率5%以下の維持、新体力テスト市平均以上が男子94%、女子87%（ちなみに全国平均以上は男女とも71%）と好結果を得ています。数値で表される見える体力だけでなく、風邪をひかない元気な身体という見えない体力も子どもたちについてきたことを示すなど、さまざまな収穫のあった2学期でした。この収穫をさらにどのように伸ばしていくかがこれからの課題であり、さらに向小の子どもたちの力を発揮させられるようにさまざまに考えていきたいと考えています。

さて、明日から14日間の冬休みとなります。特に令和になり、初めて正月を迎える冬休みでもあります。そこで、この休みをご家族で有意義に過ごされ、来年に向けて、将来に向けて夢や希望を語るひと時を設けていただけたらと思います。AIの発達により今ある職業が大きく変わると言われています。このことを強調しすぎると夢も萎んでしまうかもしれません。しかしAIは自分で努力することはできません。人間は自らの意思で努力ができるので、努力次第で可能性は伸ばせるものだと思います。どうか保護者の皆様のご経験から、子どもたちに夢や希望を膨らませるヒントとなる話をしていただけたら幸いです。また冬休みは大晦日を過ごすことなどで、夜更かしをしやすい休みとされています。しかし、子どもたちの健全な発育にとって不規則な生活は禁物です。特にゲーム（オンラインゲームを含めて）のし過ぎで不規則な生活になり、眠そうな顔の子、実際に授業中に眠ってしまう子などが2学期の後半見られるようになっていきます。冬休み中の過ごし方などにもご配慮いただけたらありがたく存じます。

ご家族皆様で、良い年をお迎えください。来年もよろしく願いいたします。

先日アンケートさせていただいた学校評価が集計できましたので裏面に掲載いたします。ご協力ありがとうございました。概ね良好な評価ですが、昨年と比較しますと数値の変動も見られます。寄せられました学校評価を、さまざまな角度から分析をして、向小学校の子どもたちがますます「かしこく やさしく たくましく なかよく」学校生活を送ることができるよう、さらに充実した教育活動を展開してまいりたいと考えています。今後ともご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

